

小野寺 唯 / Yui Onodera

プロデューサー / クリエイティブディレクター / サウンドアーティスト

www.critical-path.info

www.lab4ms.com

岩手県生まれ。音楽と建築を学び、建築音響設計に従事した後、国内外の映画/舞台音楽、CMからプロダクトサウンドデザインなど幅広い表現領域のプロジェクトを手掛ける。これまでに武蔵野美術大学(映像学科)、立教大学(映像身体学科)にてオーディオアートの教鞭をとる。

デジタルテクノロジーによる新たな音環境の社会実装を目的としたLMS (Laboratory for Metropolitan Sound)を開設。都市空間における環境デザインとしてのサウンドUXのプロデュース/クリエイティブディレクション、音響設計/環境音楽を手掛ける。主なプロジェクトに、“渋谷スクランブルスクエア mixiオフィスエントランス”、“ウイズ原宿 資生堂ビューティ・スクエア”、“SHISEIDO グローバル フラグシップ ストア”、“神田スクエア GAME FREAKオフィスエントランス”など。

主な受賞

- ・ Sound of the Year Awards 2021 | BEST SOUND INNOVATION IN EVERYDAY LIFE
 - ・ ADFEST 2019 | MEDIA LOTUS : BEST USE OF AUDIO_SILVER
 - ・ ADFEST 2019 | AUDIO LOTUS : USE OF AUDIO SUB-CATEGORY_BRONZE
 - ・ Spikes Asia 2018 | Radio & Audio : Silver Spike
 - ・ AD STARS 2018 | Data Insights : Crystal
- etc.



作曲家/サウンドアーティストとして、デジタルテクノロジーとアコースティック楽器による繊細なアンビエント/エレクトロニックミュージック、サウンドアートの分野で独特の立場を築き、これまでにドイツの名門KOMPAKTをはじめとする欧米各国よりアルバムをリリース。海外オーディオ/ヴィジュアル フェスティバルでのコンサート出演など国際的に活躍。Markus Heidingsfelder監督によるジョン・ケージのドキュメンタリー映画『Cage 64』サウンドトラックなど国内外のフィルム、舞台音楽など多岐に渡る。主な国際展/フェスティバルにStörung Festival (スペイン 2013-15年)、res-o-nant (ベルリン・ユダヤ博物館 2019年)、Audiosphere (ソフィア王妃芸術センター 2020年)など。

2017年、メディア/ハイブリッドアートの分野にて、アートコレクティブ、一般社団法人norを設立。自然/物理化学現象を応用した、空間/映像/音など様々な表現領域における手法と技術の混交によるメディアインスタレーション作品を発表する。これまでに六本木ヒルズ Media Ambition Tokyo、東京ミッドタウン 六本木アートナイト、MUTEK.JP、CULTURE GATE to JAPAN (羽田空港 第2ターミナル)、NTT inter communication center [ICC]、光点国際新媒体芸術祭 FLARE2019 (上海) など多くの国際的なフェスティバルや展覧会にて作品を発表。

主な受賞

PRESENT FUTURE Art & Technology Star Award 2019 : Installation Star Award

第22回文化庁メディア芸術祭 | アート部門 : Jury Selections prize

ALIFE 2018 | ALife Art Award : Honorable Mention prize

nor